

CONTENTS

特集 企業インタビュー：JFEテクノス(株) vol.1 … P2~3

会員さんこんにちは JFE テクノス(株) … P8



[表紙写真] JFE テクノス(株) / 関連記事 P8 会員さんこんにちは



苫小牧商工会議所
LINE公式アカウント

\\ここから登録/



企業インタビュー
JFEテクノス(株) vol.1



～「暮らしを豊かにする」レクリアーレ企業JFEテクノス～

苦小牧に営業所を構える「JFEテクノス(株)」、今回は横浜市にある本社と工場で、同社の取り組む「くらしの礎を創る、担う、結ぐ」の一端を取材させていただく機会を得た。

今月号では能登社長へのインタビューと、同社が取り組む「リバースエンジニアリング」を柱とする新事業を中心に、次号では私たちのくらしを支えるさまざまな事業についてご紹介する。

※レクリアーレとはラテン語で「元気回復」「再創造」を意味する。

JFEエンジニアリング関係各社が集まる本社前

【JFEテクノスの生い立ちと事業内容】

JFEテクノスは1985年10月に鉄鋼大手、日本鋼管（NKK）の子会社として設立。2003年川崎製鉄との経営統合による事業再編により、JFEエンジニアリングの100%子会社として新たなスタートを切った。大正1年から歩みを進めてきた日本鋼管のエンジニアリング部門としての歴史を受け継ぎつつ、鉄を通じて育てた技術力をさまざまな分野に生かしている。

製鉄所を支えてきたノウハウを生かすプラント設計と建設、万全の運営を維持する設備保全是全国の現場を支えている。近年ではバイオマス発電所の建設とメンテナンス、全国の焼却炉の維持管理や改良工事では、同社の持つ環境保全技術とシステムの構築力が生かされている。

苦小牧においては、苫東地区にある「トマト工場」、「苦小牧市ごみ焼却炉」、「東港で稼働するコンテナクレーン」などのメンテナンスにも携わっている。

北海道新幹線の高速走行を可能にする200m超ロングレールの製造にも同社の技術が生かされており、国内においては同社を含む2社のみの技術だという。

【地域の活力を支えたい！】

「リバースエンジニアリング」

事業への挑戦

JFEグループ各社が集まる横浜市鶴見区の巨大な工場群と事務所棟、その工場建屋の一つにJFEテクノス、レクリアーレ事業部メカニカルセンターがある。



3Dスキャナを操作する山口さん

工場といっても、学校の体育館が何個もすっぽりと収まってしまおうような巨大な建物だ。その中では天井クレーンが動き、製作途中というトンネル掘削を行うシールドマシンが鎮座していたが、それ自体がごちゃまじりと見えてしまう。

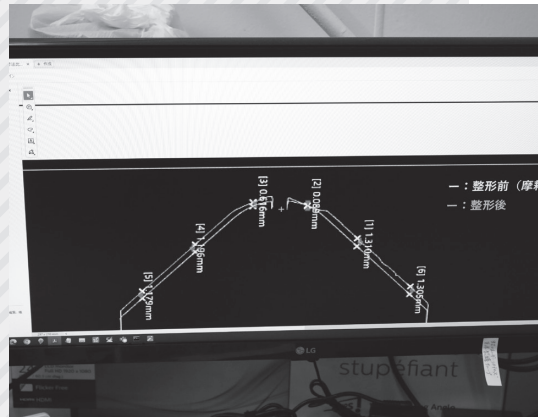
加工機械や製作途中の部材がならぶ通路を通り案内された作業スペースには、パソコンや3Dスキャナ、3Dプリンターが所狭しとならんでいる。何から何までその大きさに圧倒される工場内と違って変わり、実験室を思わせる部屋の一面にはセンサーを束ねる杉山センター長、エンジニアの山口さん、奥塩さん、増田さんの3人がPCに向かって作業をしていた。

同社が保全業務を担う全国各地の工場やプラントでは、メーカーがすでに廃業、生産終了、図面がない、メーカー不明といった古い機械や設備の故障を目的にしたりし、悩まされてきたという。そんな中、コンピューターの高性能化、レーザーや光を使った非接触計測技術の進歩などによって、物からデータへの変換、データから物への変換が高精度でできるようになったという。杉山センター長は「3Dスキャナを活用すると、現物から3次元図面を起こすことができる。パイプ状の物やタービンブレードのような複雑な形状であっても、内部構造も含めて図面化が可能」と話す。



複雑な形状も図面化できる（映っているのはエスカレータの部品）

こういった技術を使い、とある顧客先では「精密な3D測定により、摩耗した部品を詳細に分析し再研磨することで、従来であれば新品と交換していたような物でも再利用し、コストを削減することができた」と説明する。



摩耗したニードル先端部を整形することで再利用することができる。

また、破損した部分を3D測定し破損部分を分析することができるので、従来にはないスピードで対策を検討できるといふ。



穴の開いた配管断面を分析。摩耗した部分が一目瞭然。

また同社では図面化したデータを使い、素材に合わせて3Dプリンターや最新鋭

の5軸加工機を使って現物を制作することも可能だ。

5軸加工機とは、材料を削り出す刃先が、左右方向（X軸）、前後方向（Y軸）、上下方向（Z軸）に動くことに加え、固定された材料が、X軸の回転（A軸）、Z軸の回転（C軸）の2軸に動くことで刃先が材料に対してさまざまな角度から加工を行える機械で、同社ではデータ化された3次元図面により、複雑な形状の加工を可能としているほか、従来の3軸加工機には難しかった精度の高い曲面加工や、効率的な動作による作業時間の短縮が可能となっている。3Dプリンターでは樹脂やプラスチック素材のほか、カーボンファイバー素材での造形も可能だ。



こういった複雑な形状も削り出すことができる

【地域の活力を担う】

中小企業を支えたい

地域にとって「企業数の減少」が大きな問題となっている。特に中小企業に

Information

同社のリバースエンジニアリング技術に関する詳細は、本号に同封のチラシにおいて詳細が確認できます。

また、具体的に相談したい場合は同社苫小牧営業所まで。

連絡先

JFEテクノス株式会社 北海道営業所苫小牧出張所
 苫小牧市表町1丁目1番13号 苫小牧経済センタービル5階
 田中聡所長 tanaka-satoshi@tec.jfe-eng.co.jp
 URL: <https://www.jfe-technos.co.jp>



としては、跡継ぎの不在と合わせ、設備の老朽化を要因とした事業撤退や廃業の増加は大きな課題の一つだ。
 モノづくりや設備保全の分野において、全国の中小企業が担ってきた役割は重く、全国の工場やさまざまなプラントの稼働を日夜支えているが、その苦勞の多くは知られることがない。
 産業設備を支えてきた同社の「リバースエンジニアリング技術」は、地域の活力を担う中小企業にとって、心強い技術であると思う。お困りの企業はぜひ同社へご相談してみたいかがだろうか。

第397回常議員会・苦小牧商工会議所議員会・女性会・青年部 合同賀詞交歓会

苦小牧商工会議所は、1月21日にグランドホテルニュー王子3階グランドホールにて第397回常議員会を開催した。

報告事項として、2024年度第3四半期会員入会報告について、議員会・女性会・青年部合同視察研修終了報告について、ビジネスマッチ交流会終了報告について、苦小牧経済会議開催報告について、2025年新年交礼会終了報告について等5件の議題について報告がなされた。また、その他の事項として、苦小牧市環境衛生部環境生活課副主幹 高坂聡氏より「苦小牧市におけるシカ対策について」情報提供を頂いた。

また常議員会終了後には苦小牧商工会議所議員会主催による女性会・青年部合同の賀詞交歓会が開催された。来賓を含め約59人が参加し、新年の門出を祝った。主催者を代表して長居順一議員会長（苦小牧電気工事業協理専長）があいさつを行った。
来賓を代表して金澤俊苦小



賀詞交歓会にて主催者代表あいさつをする長居議員会長



常議員会開会のあいさつをする関根副会頭

牧市長があいさつし、成田富貴子女性会会長が乾杯のあいさつを行った後、出席者は歓談を楽しんだ。その後、藤淳



締めあいさつを行う藤青年部会長



乾杯のご発声を行う成田女性会会長

一青年部会長が締めのあいさつを行い、閉会となった。



第59回とまこまいスケートまつりが2月8日、9日に市内若草中央公園にて開催された。このまつりは今年で59回目を数え、スケートまつり実行委員会（委員長・金澤俊苦小牧市長）が企画運営する。苦小牧商工会議所では、本年1月より1名の職員を現場に派遣。陸上自衛隊73戦車連隊、第7施設大隊の隊員とともに、大型滑り台を制作した。



ステージでは、キャラクターショーやお笑いライブ、陸上自衛隊第7音楽隊による演奏などが行われた。会場では名物「しばれ焼き」、苦小牧青年会議所が行うスノーボブスレー体験コーナー、新幹線を模した乗り物コーナーなど、さまざまなアトラクションが開催され、多くの人で賑わった。

第59回スケートまつり開催

最近の…

苦小牧

商

工会議所の
の動き

1月22日 苦小牧地方青色申告会連合会
2025年新年交礼会をアールベルアンジェ苦小牧で開催



主催者代表あいさつをする平田会長



小野寺苦小牧税務署長による来賓あいさつ

1月29日 北海道ベトナム交流協会苦小牧
ベトナム旧正月「テト」をお祝いする会を開催



主催者を代表して宮崎会長よりあいさつ



総勢43名の参加者で、催し物を楽しんだ

1月30日 愛知・苦小牧企業交流会
愛知・苦小牧企業交流会2025に参加



苦小牧に関係する愛知企業から、約40名が参加



愛知・苦小牧それぞれの話題で情報交換・交流を行った

2月6日 苦小牧市労働力需給センター
「労働法総点検セミナー」を開催



「働き方改革は企業にとってチャンスになる」と宮子講師



人事担当者や社労士等さまざまな方が参加

相談はお早めに / 確定申告のご案内



所得税申告 **2/17～3/17** まで

消費税申告 **3/31** まで

個人事業者の確定申告の時期が近づいて参りました。申告相談等につきましてご案内します。

苫小牧商工会議所・中小企業相談所での相談

税務専門相談員（税理士）と経営指導員が相談を承ります。

申告のご相談は予約制となりますので、事前にお電話でご連絡ください。
尚、1/14～3/17まで訪問による記帳・決算指導は控えさせていただきます。

所得税の相談は3/17、消費税の相談は3/31までとなります。

※相談は1回1時間程度となります。

お問い合わせ先

苫小牧商工会議所 経営支援課
0144-61-1130（担当課直通）
（土日祝日を除く8時45分～17時15分）

ご持参いただくもの

- ①本人確認書類
- ②青色申告決算書または収支内訳書（作成して持参）
- ③前年e-Tax利用者は利用者識別番号、暗証番号がわかるもの
- ④前年の申告書控え
- ⑤所得控除関係書類（生命保険等の控除証明、健康保険、国民年金の年間支払い額がわかるもの）
- ⑥消費税の課税事業者は経費等の税率ごと（旧8%・10%・軽減税率8%）の合計額がわかる書類
- ※決算書または収支内訳書作成半ばの方は元帳などを用意してください。

これから開催予定のセミナー・相談会のご案内

簿記講座のご案内

○日商簿記3級対策講座

日 程：2025年4月2日（水）～6月6日（金）までの毎週月・水・金曜の全25回コース
（4月28日、30日、5月2日、5日は休講）

時 間：18：00～20：00

会 場：苫小牧経済センタービル 6階大ホール
※急ぎよ会場が変更となる場合がございます

講 師：室谷 拓満 氏（元苫小牧総合経済高校教諭）

定 員：30名 ※定員になり次第締め切ります

受 講 料：20,000円（教材費込み）

申 込：右記QRコード、苫小牧商工会議所HP、またはお電話からお申込みください

お 支 払：銀行振込または苫小牧商工会議所窓口にて、**3月19日（水）**までにお支払ください
振込先 北洋銀行苫小牧中央支店（普）0057660 苫小牧中小企業相談所 所長 堀抜信吾 宛
※振込手数料はご負担ください

担 当：苫小牧商工会議所 経営支援部 経営支援課（TEL：0144-61-1130） 担当：古川、中塚

○講座内容○
問題演習×商業簿記
日商簿記3級合格程度の基礎力を養います！
講義と問題演習で応用力が身につきます！



新入社員セミナーのご案内

○新入社員セミナー2025

日 程：2025年4月8日（火）・9日（水）

時 間：9：00～16：00（両日）

会 場：苫小牧経済センタービル 6階大ホール

講 師：(株)エスパス・マナーアカデミー 代表取締役社長 成田 裕美 氏

定 員：20名

申 込 締 切：3月28日（金）※定員になり次第締め切ります

受 講 料：会員事業所：20,000円/1名（同一事業所2名以降15,000円/1名）
非会員事業所：50,000円/1名

申 込：同封しているチラシに必要事項を記入頂き、窓口、FAXにてお申込みいただくか、右記QRコード、
当所HPのお申込みフォームをご利用ください。FAX：0144-32-6058

お 支 払：銀行振込または商工会議所窓口にてお支払いください
振込先 北洋銀行苫小牧中央支店（普）0057660 苫小牧中小企業相談所 所長 堀抜信吾 宛
※振込手数料はご負担ください

担 当：苫小牧商工会議所 経営支援部 経営支援課（TEL：0144-61-1130） 担当：井上、山下

○講座内容○
社会人としての仕事に対する心構え、
職場でのルール、ビジネスマナーを
習得していただきます！



ご利用
ください

専門相談室 2025年3月の予定

事業経営に必要な専門的アドバイスは、
商工会議所・中小企業相談所の専門相談員にご相談ください。
事前予約が必要な場合がございますのでまずはご連絡ください。

法律相談	登記相談	経営相談	労務相談
弁護士 岡田秀樹氏 【4月を予定】	司法書士 千葉武徳氏 【随時】	中小企業 診断士 岩佐秀明氏 【3/18(火)13:00-15:00】	社会保険 労務士 定蛇 萌氏 【4月を予定】
事業承継相談	税務相談	発明・特許相談	許認可申請相談
北海道事業承継・ 引継ぎ支援センター 阿部 聡氏 山本 修氏 【3/27(木)10:00-16:00】	税理士 別段 清氏 【常駐 10:00-16:00】	弁理士 内藤拓郎氏 【3/12(水)9:45-11:45】	行政書士 山口美津男氏 【随時(月・水・金)】

各種相談を希望される方

日本政策金融公庫中小企業事業部 …… 希望する方はお電話でお問い合わせください。

苫小牧商工会議所にTEL(予約手続き)

中小企業団体中央会 …… 毎週水曜日 10:00-12:00

北海道信用保証協会経営相談 …… 第1・第2木曜日 10:00-16:00

当日予約時間にお越しください

日本政策投資銀行 …… 希望する方はお電話でお問い合わせください。

予約・お問い合わせ

苫小牧商工会議所・経営支援課

TEL: 61-1130

新入会員のご紹介 2025年1月入会の事業所を紹介します。(敬称略、会員番号順)

事業所名	代表者名	町名	事業内容
(株)GOAT-X	本 保 雄 太	有珠の沢町	オンライン学習塾、総合型選抜支援、WEB制作
小野寺組	小野寺昭彦	美園町	配管工
しまや経営労務事務所	島 谷 光 寛	春日町	社会保険・労働保険に関する手続業務
煌陽自工	安 田 光 弘	木場町	大型車両板金、乗用車板金
G-CRAFT	高 橋 賢 次	柏木町	ゴルフクラブの溝加工
こころのコンパス	不破みさき	拓勇西町	占い・占い系講座
こよいの酒と肴りんご	長谷山美加	錦町	小料理店

編集後記

前回の編集後記から気づけばもう2月。時がたつのは早いものだなと痛感する毎日です。個人的にも、2月に30歳を迎えるので、これまた早いなあと感じています。今年は、最近キャンプにハマっているので、道具をたくさんそろえて、いろんなキャンプ場を回りたいな~と思っています (角ハイ)

インボイス制度導入後の実態把握調査

苫小牧商工会議所では、免税事業者が課税事業者となったことによる影響や全事業所に影響が出ると考えられる経理処理、事務作業の負担状況等、インボイス制度導入に係る実態を把握すべく、アンケート調査を実施します。

右記QRコードより回答または同封の回答用紙記入の上、FAXで下記まで送付をお願いします。

FAX: 0144-32-6058

※回答時間約2分、1事業所から複数名回答可能です

お問い合わせ: 苫小牧商工会議所 経営支援課 TEL:0144-61-1130



とまポンカードサービス終了のお知らせ

とまポンカードをお持ちの皆様へ
2025年3月31日(月)までのご利用となります

この度、2025年3月31日(月)をもちまして「とまポンカードサービス」の提供を終了することになりました。2006年12月の開始より「とまポンカードサービス」をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。お客様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。とまポンカードを長らくご利用いただき、心より感謝申し上げます。

※とまポンカードの窓口販売は既に終了しており、現在カードをお持ちの方のみサービス終了まで継続してカードを利用することができます。

ご利用いただける店舗やサービスの変更は
苫小牧商工会議所HPよりご確認ください。



<https://tomakomaicci.jp/pages/6/>





くらしを豊かにする「レクリアーレ企業」 JFE テクノス株式会社

※レクリアーレ… ラテン語で「元氣回復」「再創造」の意味



能登隆社長

今回ご紹介する会員さんは、プラント設備や産業用機械のメンテナンスを中心に事業を展開しているJFEテクノス株式会社です。

代表取締役社長の能登隆さんに、JFEテクノスが手掛ける各種事業や、今後の方針についてお話を伺いました。

JFEテクノス株式会社は、鉄鋼大手、日本鋼管（NKK）の子会社として設立、2003年川崎製鉄との経営統合による事業再編により、現社名でJFEエンジニアリングの100%子会社として新たなスタートを切りました。以降、メンテナンス

事業のみならず、エネルギー分野や社会インフラ分野など計6分野に跨る事業を行い、人々の暮らしや、日本の産業を支えています。道内で、苫小牧市のごみ処理場のメンテナンスや札幌市「サッポロさとらんど」の指定管理者として、施設の維持・管理を行っています。

会社を訪問させていただいた時期は12月でしたが、入口には華やかなクリスマスツリーが我々取材陣を出迎えてくれました。ご案内いただいた社内のことろには、真っ赤なポインセチアが飾られており、大きな工場群やそこで作られる重厚

な製品群から受けるイメージとは一転し、華やかで、また繊細な心配りも感じられました。

横浜に本社を構えるJFEテクノスですが、北海道での営業活動は、札幌に北海道営業所、苫小牧に出張所が置かれています。苫小牧市に拠点が置かれているのは、元々同社や親会社であるJFEエンジニアリングの関わるプロジェクトが多かった

こともあったのですが、苫小牧地域のポテンシャルの高さ故の判断だそう。また商工会議所活動への参加を通じて、地域に根差す企業や人々とより深く関わっていくことで、自社の新しい可能性を拓ける、苫小牧での活動をモデルケースにしていきたいとのことでした。能登社長は北海道に熱い想いがあるそうです。「帯広生まれで、3歳まで北海道で暮らしていた」能登社長は広大な大自然の中、寝転んで空を眺めるのが好きだったそうです。お話をうかがう中で、大自然を全身で感じた幼少期の思い出が、現在の再生可能エネルギー事業や、環境関連事業への熱意に大きく影響していると感じました。

同社は、「住民に寄り添ったまちづくり」をモットーに、多種多様な技術力を生かしたまちづくり事業にも取り組んでいま



す。東京丸の内や、大阪梅田のイルミネーション、パシフィコ横浜や国立京都国際会館等のMICE施設の運営事業を手掛けて、ハード、ソフトの両面に対応できるノウハウを持ち、ワンストップで維持管理から、運営までの対応力が同社の持ち味であると感じられました。

「今回見ていただいたリバーズエンジニアリング事業も、社員からの提案に基づいて取り組むことにしました。」と能登社長。「老朽化した部品や、図面がなく修理ができない部品を再現するリバーズエンジニアリング事業を通して、地域の中小企業の事業撤退や廃業を食い止め、地域経済の衰退に歯止めをかけた。低コストで、お手伝いができるので、気軽に相談してほしい」と笑顔で話していた。

※P2、3に同社の特集が掲載されております。

